

【アンケート調査実施期間】令和5年7月5日（水）から令和5年7月19日（水）まで
 【アンケート調査対象】川柳小学校及び明正小学校第3学年から第5学年児童・保護者
 【アンケート調査結果】明正小学校 回答数：361

部活動名	3年生	4年生	5年生	合計回答数(%)
野球(男女)	7	8	6	21 (5.8%)
バレーボール(男子)	2	3	1	6 (1.7%)
バレーボール(女子)	4	2	2	8 (2.2%)
バスケットボール(男子)	4	4	12	20 (5.5%)
バスケットボール(女子)	8	1	0	9 (2.5%)
卓球(男女)	2	8	2	12 (3.3%)
ソフトテニス(男子)	2	2	5	9 (2.5%)
ソフトテニス(女子)	3	4	5	12 (3.3%)
バドミントン(女子)	5	3	7	15 (4.2%)
サッカー(男女)	21	12	13	46 (12.7%)
陸上競技(男女)	15	7	14	36 (10.0%)
体操(男子)	1	0	2	3 (0.8%)
技芸(男女)	20	12	15	47 (13.0%)
美術(男女)	5	5	5	15 (4.2%)
吹奏楽部(男女)	10	6	8	24 (6.7%)
茶道・箏曲(男女)	3	3	6	12 (3.3%)
科学(男女)	21	9	12	42 (11.6%)
パソコン(男女)	4	6	5	15 (4.2%)
特に興味のある部活動はない	3	3	3	9 (2.5%)

〈部活動の意義と課題〉

「中学校学習指導要領 第1章総則第5の1」文部科学省 一部抜粋

- ・生徒の自主的、自発的な参加により行われるものであり、スポーツ、文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。

「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革 概要」文部科学省 一部抜粋

- ・部活動の設置・運営は、法令上の義務（教育課程上）として求められていなく、必ずしも教師が担わなければならない業務ではなく、部活動指導員をはじめとした外部人材など教師以外の者が担うことを積極的に検討すべきである、と示されている。（平成29年12月22日中央教育審議会）
- ・教師の勤務を要しない日（休日）の活動を含め、これまで教師による献身的な勤務によって成り立っており、長時間勤務の要因であることや、特に指導経験がない教師にとっては多大な負担であるとともに、生徒にとっては望ましい指導が受けられない場合が生じている。
- ・持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現できる改革が求められている。

〈適切な部活動運営のための体制整備〉

「埼玉県の部活動の在り方に関する方針」平成30年7月埼玉県教育委員会 一部抜粋

(1) 部活動の方針の査定と公表

- ア 市町村教育委員会は、国のガイドラインに則り、県の方針を参考に、「設置する学校に係る部活動の方針」を策定する。

【越谷市立中学校における部活動ガイドライン】越谷市教育委員会

[越谷市ホームページ](#) > [子育て・学び](#) > [教育](#) > [小学校](#) > [小学校に関する情報](#) > [越谷市立中学校における部活動ガイドライン](#)

(2) 指導・運営に係る体制の構築

- ア 校長は、生徒や教員の数、(中略)を踏まえ、指導内容の充実、生徒の安全の確保、教員の長時間勤務の解消等の観点から円滑に部活動を実施できるよう、適正な数の運動部・文化部を設置する。